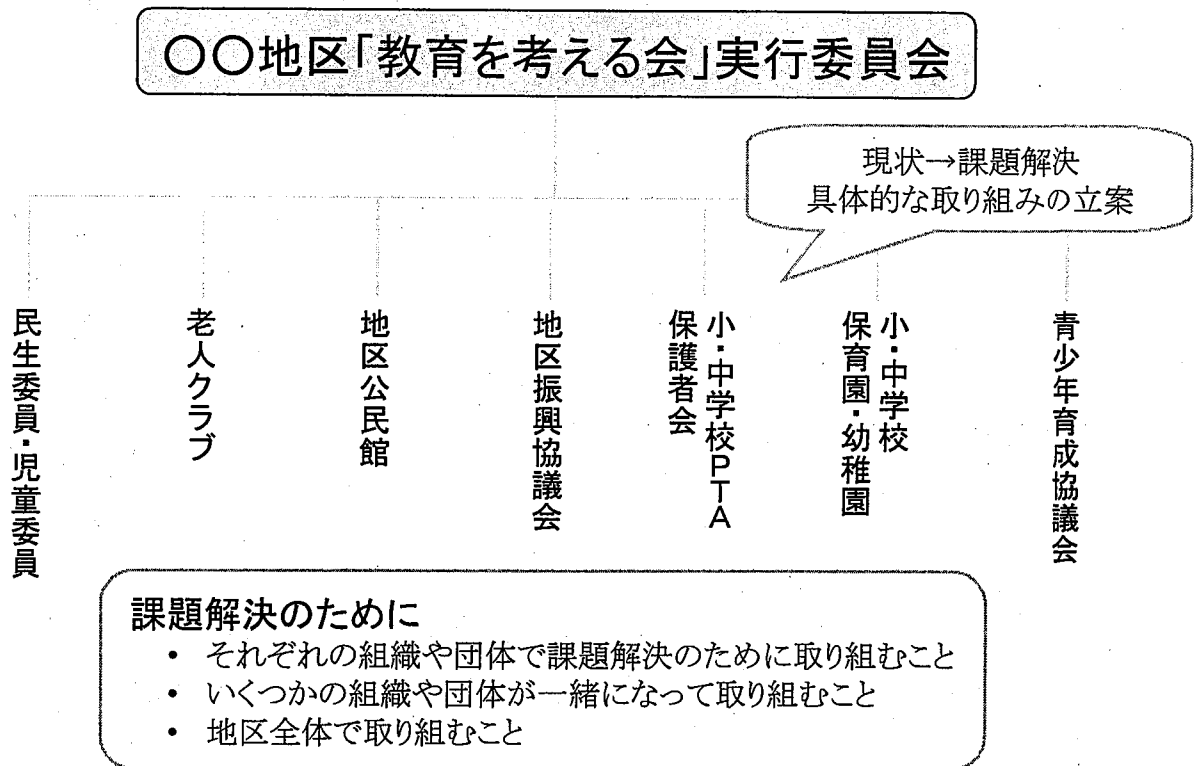


## 地区別「教育を考える会」

- 1 主 催 各地区実行委員会 倉吉市教育委員会
- 2 目 的 地域の子どもたちを地域で育てるための話し合いや情報の共有化を行い、具体的な活動や連携が推進できるようにする。
- 3 会 場 地区公民館・小学校等（市内13地区で実施）
- 4 参加者 地区住民
- 5 開催について
  - 各地区において「教育を考える会」を開催します。
  - 地域の実態に応じて開催します。
    - ・子どもたちの育ちの現状についての共通理解
    - ・地域を挙げて具体的な取り組みを行うための提案や協力依頼
    - ・関係機関との連携強化等
    - ・開催時期については地域の実態に応じて決定
  - 教育委員会（学校教育課、生涯学習課）も地区の実行委員会に協力します。
- 6 その他
  - ・各地区の実態が異なるので、実態に応じた教育を考える会の開催が大切です。
  - ・地域によっては、青少年育成協議会や教育振興会などが教育を考える会を開催することもできます。

(イメージ図)



(例)

子どもと地域の方のふれあい

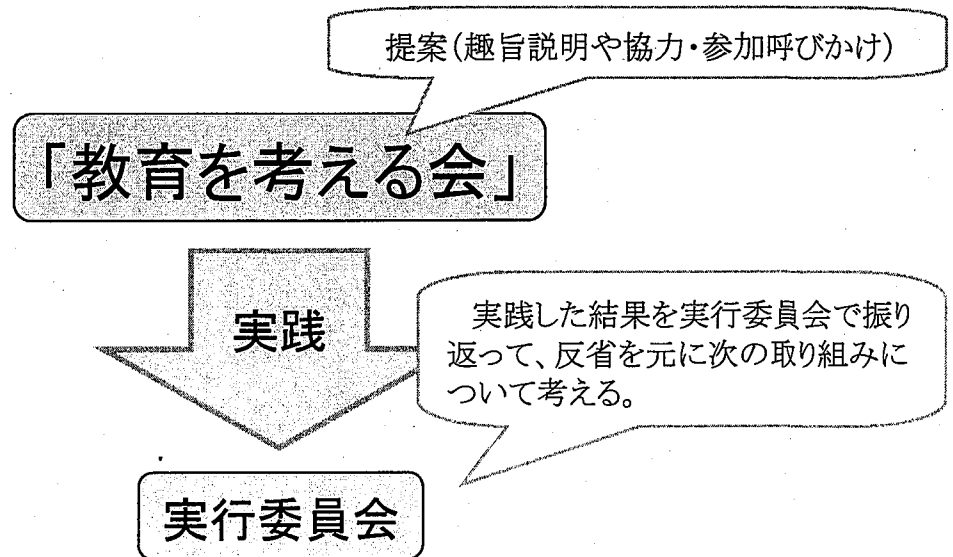
- PTA、青少年育成協議会、老人クラブなどが一緒になって行う行事を提案し、協力や参加を求める。

子どもの地域行事への参画

- 地域の行事に子どもが計画段階から参加できるような取り組みを提案する。

あいさつ運動

- 地域全体で、あいさつ月間を定め取り組むことを提案。(月間にあわせて地区の有線放送で呼びかけたり、協力団体の構成員が朝立って呼びかけたりするなど具体的な取り組みになるようにする)



## 教育を考える会

平成16年度より実施、今年で7年目となる。

(目的) 地域の子どもたちを地域で育てるための話し合いや情報の共有化を行い、具体的な活動や連携が推進できるようにする。

(参加者数)

	参加者数	備 考
平成16年度	1,094人	各小学校区(12校区)で実施
平成17年度	530人	各中学校区(5校区)で実施
平成18年度	1,129人	各地区(13地区)で実行委員会形式により実施
平成19年度	931人	
平成20年度	867人	
平成21年度	530人	

(成果)

※中学生の地域の行事への参加(参画)が増えた。

※あいさつ運動など地域ぐるみでの取り組みが活発になった。

※子どもに関わる大人が一堂に会して話し合うことで、今の親の悩みや学校の取り組みの様子が分かった。

(課題)

※参加者が固定化している。

※地域によって取り組みの差がある。

※開催できていない地域がある。